

2021年3月2日
ガーデンツーリズム登録審査説明会

必要な構成要素と計画の考え方

東海大学 観光学部
教授 田中伸彦



JAPAN GARDEN TOURISM

ガーデンツーリズム登録制度

- 平成31年4月に、庭園管理者等が組織した協議会がガーデンツーリズム計画を作成し、国に登録する制度を創設

登録された計画(令和2年10月17日時点: 10計画)

北海道ガーデン街道

北海道旭川市、富良野市、帯広市ほか



真鍋庭園(帯広市)

ガーデンネックレス横浜

神奈川県横浜市



日本大通り(横浜市)

富士・箱根・伊豆

「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム

神奈川県箱根町、静岡県沼津市、三島市ほか



沼津御用邸記念公園(沼津市)

にいがた庭園街道

新潟県新潟市、村上市、新発田市ほか



旧齋藤家別邸(新潟市)

アメイジングガーデン・浜名湖

静岡県浜松市、湖西市、袋井市、掛川市



はままつフラワーパーク(浜松市)

宮崎花旅365

宮崎県宮崎市



フロンテ宮崎(宮崎市)

いばらきガーデン& オーチャードツーリズム

茨城県水戸市、ひたちなか市、笠間市ほか



偕楽園公園(水戸市)

湘南邸園文化ツーリズム

神奈川県小田原市、茅ヶ崎市、大磯町ほか



小田原邸園交流館 清閑亭
(小田原市)

雪舟回廊

岡山県総社市、島根県益田市、
山口県山口市、広島県三原市ほか



萬福寺庭園(益田市)

むさしの・ガーデン紀行

三鷹市、調布市、小金井市ほか



都立野川公園
(三鷹市/調布市/小金井市)

5つの質問をします。

(庭園巡り観光なんて、昔から行われているはずなのに、
何でいまさら国がガーデンツーリズム?)



はじめに質問です (その1)

「今度の旅行で庭園に行こう！」

と思ったら、「**どの国**」を思い浮かべますか？

「**国内ならどの地域**」を思い浮かべますか？

はじめに質問です (その2)

「あなたがお住まいの地域の庭園の、他地域とは違う特徴は何ですか?」

と尋ねられたら、どう答えますか?

はじめに質問です (その3)

「あなたがお住まいの地域の庭園には
誰がどのくらい来ていますか?」

と尋ねられたら、どう答えますか?

はじめに質問です (その4)

「あなたがお住まいの地域には、魅力的なのに埋もれた庭園は
ありませんか？」

と尋ねられたら、どう答えますか？

はじめに質問です (その5)

「あなたがお住まいの地域では、複数箇所を巡る庭園周遊が
行われていますか？」

と尋ねられたら明確に答えられますか？

5つの質問

- (1) 「今度の旅行で庭園に行こう！」と思ったら、
「**どの国/地域**」を思い浮かべますか？
- (2) 「あなたがお住まいの地域の庭園の、
他地域とは違う**特徴**は何ですか？」
- (3) 「あなたがお住まいの地域の庭園には、
誰がどのくらい来ていますか？」
- (4) 「あなたがお住まいの地域には、魅力的なのに
埋もれた庭園はありませんか？」
- (5) 「あなたがお住まいの地域では、
複数箇所を巡る**庭園周遊**が行われていますか？」

ガーデンツーリズムを推進する理由

- (1) 日本の庭園(ガーデン)を国際ブランド化する
- (2) 日本の庭園(ガーデン)の地域性を明確化する
- (3) デスティネーションとしての庭園(ガーデン)の
ターゲットを明確化する
- (4) 埋もれた庭園(ガーデン)を発掘する
- (5) 地域の庭園(ガーデン)が手を組み、連携する

→計画の考え方

ガーデンツアーリズム

(庭園間交流連携促進計画登録制度)

- カタカナ名も重要ですが、わざわざ漢字で制度名を残したところにも注目してほしいと思っています。

単純な「テーマ別観光」とは違う

公園行政と庭園の関係

公園って何？

公衆のために設けた**庭園**または**遊園地**。

法制上は、国・地方公共団体の営造物としての公園（**都市公園**など）と、風致景観を維持するため一定の区域を指定し区域内で種々の規制が加えられる公園（**自然公園**）とがある。（『広辞苑』より）

観光とは？ - 旅行と造園・園芸 -

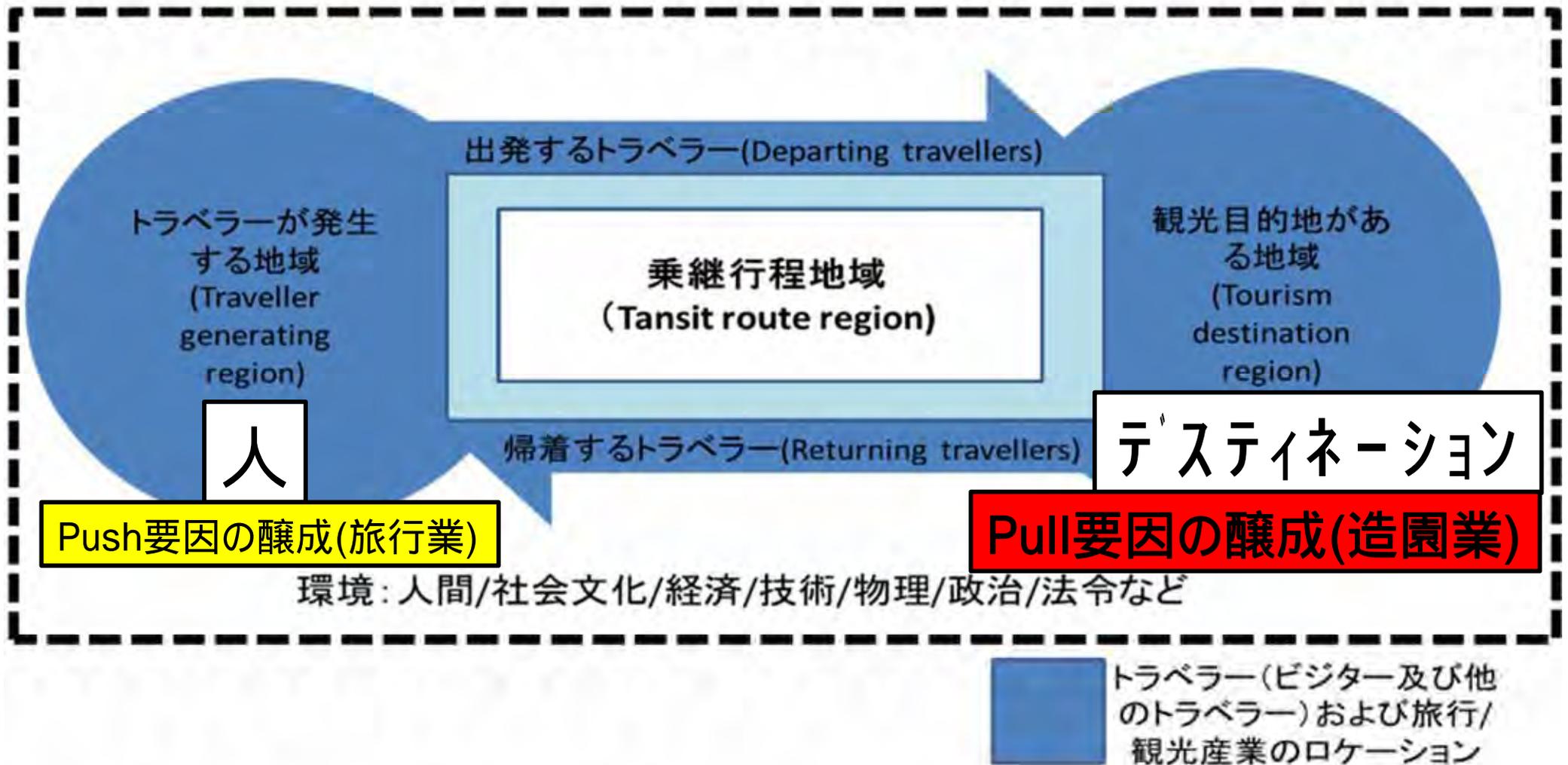
観光は「国の光を観る」と書きます。「国の光」を「園」と呼べば、魅力ある観光地をつくるのは「造園」、ディテールを磨き上げる技術(芸)が「園芸」、光ある園へ旅に行く手伝いをするのが「旅行」となります。

これまでの観光業の流れは、「園を造れない集団 = 旅行業」が無理して「造園」まで手を伸ばしていました。「観光圏」、「テーマ別観光」などの観光庁の施策が持続しなかったのは、素人が「造園」をしていたからです。

ガーデンツーリズムを活用し、デスティネーションマネージャーが観光資源を活用して園を造り、旅行業者には旅に行くアシストに専念してもらおう、そんな関係になると「造園」から「旅行」までが一体的につながった観光になり、内閣府が言っているところの「観光先進国」に仲間入りできます。

観光という現象の理解

概念としての観光



観光概念の枠組み (Leiper 1979,1990,2008を改変)

ガーデンツーリズム関係者の自覚

造園関係者、公園関係者、行政官等が、

**「自分たちが観光立国推進の
将来のカギを握る当事者である
こと」**

を強く自覚することが必要。

今までの観光政策とこれからの観光政策

今までの観光政策:

魅力的なデスティネーションが既にあることが前提

「旅行業」が企画し、「運輸業」が運び、「宿泊業」が泊める

→ 「Push型観光」「発地型観光」・・・**地元の利幅が薄い**

これからの観光政策

新たなデスティネーションをつくることが前提

「造園業」等がデザインし、「DMO」が呼び込み、「個人」が来る

→ 「Pull型観光」「着地型観光」・・・**地元が旅行をコントロール**

ガーデンツーリズム担当者に期待される役割

ガーデナー/ランドスケープアーキテクトとしての役割:

- 魅力的なデスティネーションをつくる
- 個々のデスティネーションが域内で交流連携する
- デスティネーションをブランディングする
- 採算がとれるランドスケープ経営をする

DMOの役割

- 日本型DMOからの脱却(迷走から正常化へ)
- 「旅行業」「運輸業」「宿泊業」偏重からの方向転換
- 地域づくりを現実に行えるランドスケープアーキテクトとの連携強化
- 正確な観光情報、統一された観光方針、旅客ターゲットの設定など

デスティネーションとしての「パーク」

ある場所を観光デスティネーションにするための手段

目的地の類型	内容	例
「観光資源」の活用	魅力ある観光資源を、その場でみせる	屋久杉、姫路城
「観光施設」の建設	魅力的な観光資源を、施設内に展示してみせる	博物館、美術館
「パーク」の設定	魅力的な観光資源を、囲われた広がりのある空間内でみせる	国立公園、テーマパーク
「イベント」の開催	魅力ある観光資源を、期間限定でみせる	B1グランプリ、野外フェス
「制度」の活用	魅力ある観光資源を、ブランド化し、差異化してみせる	世界遺産、百名山

観光客とは？

一部

旅行業のテリトリー

全員

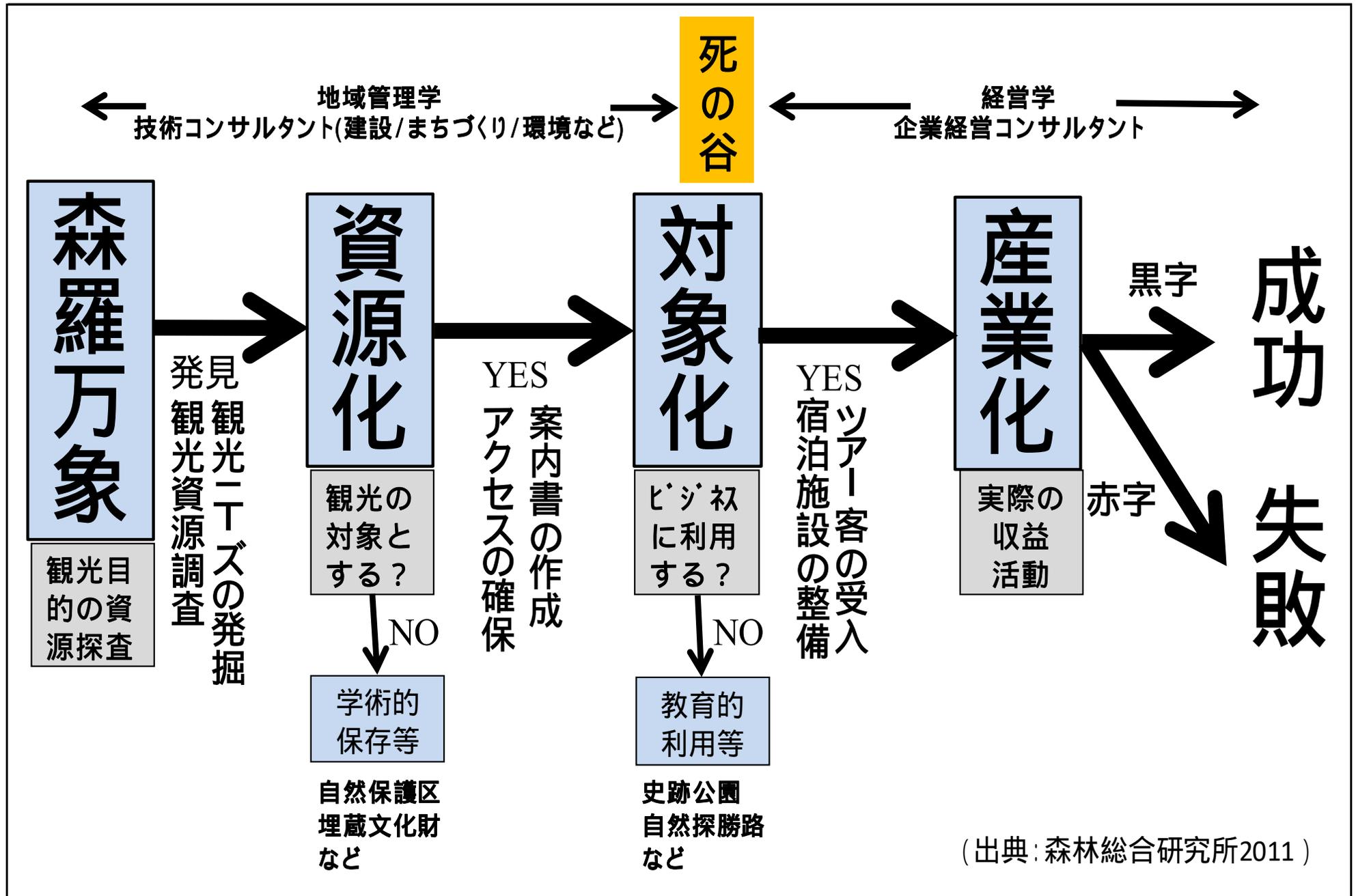
造園業のテリトリー



図3.4 コーヘン (Cohen) の旅行者の分類

出典: Cohen 1972を改編

観光が産業として成立するまでの経緯と「死の谷」



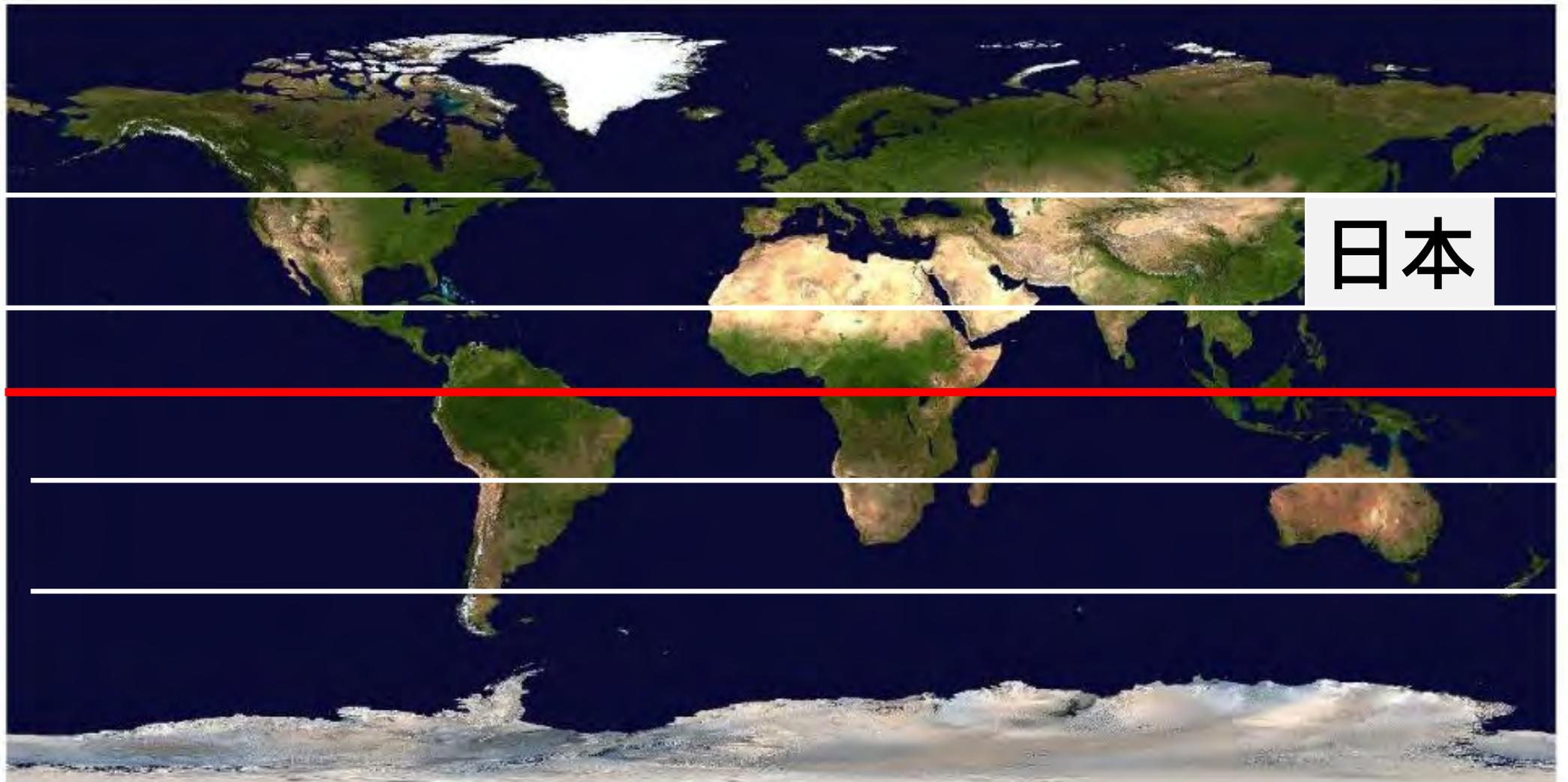
日本ってどこ？



日本の海域

国土面積	62位
海域面積	6位
総合面積	9位

世界の中の日本



日本の位置する緯度は本来
砂漠になる場所！！
...でも緑豊かなのです。



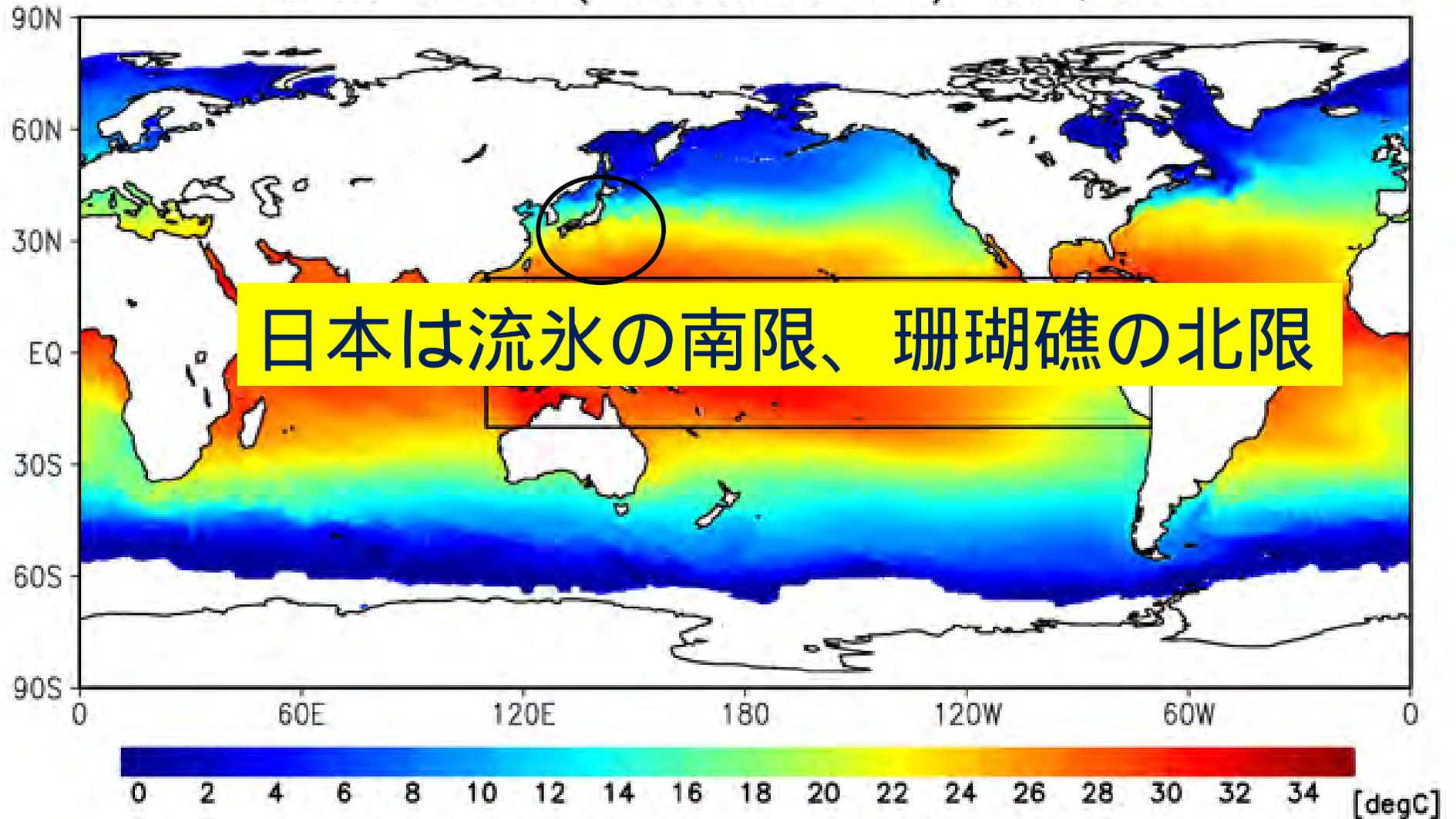
日本が存在する緯度は本来砂漠になってもおかしくない場所である

- 沙漠であってもおかしくない日本が、
これほど自然が豊かな国である秘密
- 1つの国で、流氷を見た当日にサンゴ礁の海が
満喫できる国、日本

→日本のガーデンはグローバルに見て奇跡的な自然、つまり緑に恵まれた生物多様性に支えられている。ガーデンツアーリズムの推進者は、その事実を踏まえて庭園を管理し、地域が持つ高い自然のポテンシャルのすばらしさを伝えて欲しい。

世界の海面温度

AMSR-E SST (Shibata Ver.0.6): NOV, 2002



日本の自然の多様性

東京 - 京都: 2時間半

<http://photohito.com/photo/356307/>



<http://tsuiteru-happy-life.up.n.seesaa.net/tsuiteru-happy-life/image/CEAEC9B9A1A1C3CEBEB2CFA2BBB3.jpg?d=a39>

羽田 - 女満別: 1時間半



<http://yaeyama.ne.jp/%E3%81%95%E3%81%8B%E3%81%AA2.jpg>

羽田 - 石垣: 3時間半



http://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/sekaisan/img/joumonsugisekou1.jpg

羽田 - 屋久島: 2+0.5時間

1つの国で、流氷を見た当日にサンゴ礁の海が満喫できる国、日本

女満別空港→那覇空港(沖縄)

1本前

2017年01月15日(日)始発

1本後

 到着時刻順	 乗換回数順	 料金の安い順
↓ルート1 08:50発→14:40着 (5時間50分)	94,100円 乗換: 1回	 
↓ルート2 09:20発→15:10着 (5時間50分)	92,480円 乗換: 1回	
↓ルート3 09:20発→15:55着 (6時間35分)	71,580円 乗換: 1回	 

更なる発展に向けて

(コロナ前に考えた組み立て:「住んでよし、訪れてよし」の観光立国)

当初の想定ターゲット層(例)

【その1:初心者】

「自由旅行で成田空港に降り立った庭好き外国人」

→前提知識がなくても、「庭園好き」であれば、北海道の庭園でも沖縄の庭園でも紹介できる。

【その2:コア層】

「学校の造園学科、園芸学科の新生」

→毎年1~数か所の登録地を訪れても、一生ガーデンツーリズムが楽しめる。

「観光立国」の推進に焦点をあてて「訪れてよし」の広域旅行を先行させてきたが、コロナ禍における「マイクロツーリズム」や「在宅勤務・ワーケーション・移住」に併せて「住んでよし」のガーデンツーリズムを前倒しで行うことも重要になってきた。

更なる発展に向けて

(本日はガーデンツーリズムにフォーカスを当てて話しましたが...)

選ばれる観光地を創造するDMO...

美しく快適な緑や景観をつくることはデフォルト
環境に配慮した空間づくり(生物多様性等)
災害に対応した空間づくり(避難所・供給拠点等)
エネルギーや物質循環に配慮した空間づくり
(バイオマスのエネルギー活用・太陽光等)

ガーデンシイリズムの特徴と概要

北海道から沖縄まで、日本はどこへ出かけても美しい庭園に出会える。なおかつ各地の庭は、それぞれ個性的だ。庭という幾色もの宝石を散りばめた東アジアの「ガーデンアイランド」、それが日本である。↑

日本の庭園が個性的なのは、多彩な自然のおかげである。例えば日本の海は、北には流水が訪れ、南にサンゴ礁が広がる。そんな国は、他には米国ぐらいだ。ただしアラスカとハワイ。一度の旅行で周るのは非現実的である。だが日本では、朝、流水の上を歩いた足で飛行機に乗れば、夕方にはサンゴ礁でダイビングできてしまう。寒暖織り交ぜた自然がコンパクトに凝縮されているのだ。日本人は見過ごしがちだが、日本の自然は世界トップクラスの多様性と凝縮性を持つ。↑

加えて、日本には長い歴史文化がある。平安の貴族文化、鎌倉以降の武家文化、明治からの近代文明と、各地で歴史が多層に折り重なっている。↑

多様な自然と歴史文化。庭園とは、その魅力をさらに凝縮した屋外芸術である。その事

実を、日本人自身が認識し直し、世界に発信するため、国土交通省は「ガーデンツーリズム」登録制度(正式名…庭園間交流連携促進計画)を令和元年度に開始した。同制度には、魅力的な各地の「隠れた庭園・花の名園」を発掘し、地域活性化を図り、庭園文化の普及を図る目的がある。現時点で、北海道から九州まで、国内で10か所が登録された。↑

現在、日本の庭は国際的には著名とは言えない。風景式庭園が印象的なイギリスや、整形式庭園を擁するフランスに水をあけられている。京都奈良や平泉の世界遺産庭園や、島根の足立美術館庭園など、一部の庭園には各国から観光客が押し寄せるが、全国津々浦々にある魅力のある庭園は密かに眠ったままである。ただ、これは工夫次第で、庭園が観光客を集める地方創生の起爆剤となることを意味する。だが、実現するには地元の庭園の特徴を理解し、オリジナルの「物語」を見出し、対外的に共感してもらう努力が必要となる。↑